

第6学年 社会科 年間学習計画

目 標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

(1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。

(3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

学期	月	学習内容(単元)	年間学習目標
Ⅰ 学期	4	○ わが国の政治のはたらき Ⅰ 日本国憲法と政治のしくみ <日本国憲法の基本的な考え方に着目して、ユニバーサル都市をめざす福岡市の障がいをもつ青年たちの活動を手がかりに、日本国憲法が国民生活に果たす役割や、国会、内閣、裁判所と国民との関わりを考え、表現することを通して、日本国憲法は国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は、日本国憲法の基本的な考え方にもとづいていること、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解する。>	【知識及び技能】 我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
	5	2 わたしたちの願いと政治のはたらき <待機児童問題解消の計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、国や区(地方公共団体)の政治の取り組みをとらえ、国民生活における政治の働きを考え、表現することを通して、国や区の政治は、国民主権の考え方のもと、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解する。>	【思考力・判断力・表現力等】 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
	5-6	○ 日本のあゆみ Ⅰ 大昔のくらしとくにの統一 <狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷(大和政権)による統一の様子などに着目して、遺跡、遺物について、地域にある博物館などを利用して調べたり、当時の様子や人物の働きなどを資料で調べたりして、「くに」としての我が国の歴史が形づくられるまでの様子や過程について理解する。>	【学びに向かう力・人間性等】 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。
	6-7	2 天皇を中心とした政治 <大陸文化の摂取や大化の改新、大仏造営、人物の働き、代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料を調べ、まとめ、表現することを通して、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解することができるとともに、それらの事象に関連する聖徳太子、中大兄皇子、聖武天皇、行基らの業績や法隆寺、東大寺の大仏などの優れた文化遺産について理解する。>	
	7	3 貴族が生み出した新しい文化	

		<貴族の屋敷や生活の様子、藤原道長の政治、かな文字を使った文学作品、今に伝わる年中行事に着目して、貴族の政治や中国との関わり、日本風の文化が生まれ、かな文字を使った源氏物語や枕草子が生まれたことや、貴族のくらしから生まれた年中行事が、今も受け継がれていることを理解する。>
9	4 武士による政治のはじまり	<源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いに着目して、鎌倉時代以降、約650年もの間、武士による統治が続いていくが、その世の中は、どのように生まれ、どのように広がったのかについて、地図や年表、想像図などの資料を生かして、武士の生活は貴族の生活と比べ、大きな違いや変化が生まれたことや、貴族にかわって武士が政治をおこなうようになったことを理解する。>
	5 今に伝わる室町の文化と人々のくらし	<足利義満・義政、雪舟や代表的な文化遺産・金閣・銀閣、茶の湯や生け花、能などに着目して、写真や絵画、文化財、年表などの資料を調べ、まとめ、話し合い、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解する。>
9-10	6 戦国の世の統一	<鉄砲やキリスト教の伝来、織田信長・豊臣秀吉について、群雄割拠の状態から戦国の世を統一したことを、想像図や文書、年表、地図などの資料を効果的に活用し、具体的に調べ、キリスト教が我が国に広がったことや、鉄砲を多用する織田信長が短い間に領地を広げ、楽市楽座、城下町づくり、キリスト教の保護などの新しい政策をおこなったこと、豊臣秀吉が検地や、刀狩をおこない天下を統一したことなどを、広い視野から理解する>
	7 武士による政治の安定	<徳川家康や家光がおこなった事績に着目して、徳川家康が関ヶ原の戦いで勝利を収め、江戸に幕府を開いたことを取り上げて調べ、江戸幕府による政治が始まったことが分かるようにする。そして、大名の全国配置の仕組みと参勤交代制度の始まり、身分制度の確立、キリスト教の禁止や海外との貿易の統制にともなう鎖国の実施について取り上げ、江戸幕府による政治が安定したことを理解する。>
10-11	8 江戸の社会と文化・学問	<江戸幕府が政治をおこなったころの歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学について、歌舞伎や浮世絵の作品、『解体新書』や日本地図などの学問の成果などに着目して調べ、室町文化などと比較し、町人の文化が栄え、新しい学問が起こったことを理解する。>
11	9 明治の新しい国づくり	<黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などに着目して、絵画や地図、年表などの資料で調べ、まとめ、このころの政治の仕組みや世の中の様子をとらえ、その変化を考え、表現することを通して、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ、近代化を進めたことを理解する。>
12	10 国力の充実をめざす日本と国際社会	<ノルマントン号事件や不平等条約を手がかりにして、明治中・後期、政府に不満をもっていた自由民権運動の動きや、大日本帝国憲法の発布と国会開設、日清・日露の戦争や不平等な条約の改正の経過、その後の日本の産業の発達、人々の生活を守る運動などについて調べ、我が国の国力が充実し、国際的地位が向上したことや、人々の生活や社会に大きな変化をもたらしたことを理解する。>

3 学 期	1	11 アジア・太平洋に広がる戦争 <日中戦争や第二次世界大戦、戦時中の人々の暮らしに着目して、中国との戦いが全面化したことや、アジア・太平洋地域において連合国との戦いに進出したこと、日本が戦時体制に移行したこと、国内各地への空襲、沖縄戦、原爆投下など、国民が大きな被害を受けたことを理解する。>
	1-2	12 新しい日本へのあゆみ <戦後の日本国憲法の制定や国内産業の発達などに着目して、日本が民主的な国家として出発し国際社会に復帰したこと、産業の発達により国民生活が向上したこと、アジアで初めて東京オリンピック・パラリンピック大会が開催され、スポーツを通じた世界平和の実現に貢献してきたことなどを調べ、戦後、我が国は民主的な国家として出発したことで国民生活が向上し、国際社会のなかで重要な役割を果たしてきたことを理解する。>
	2	○世界のなかの日本とわたしたち
	2-3	1 つながりの深い国々の暮らし <グローバル化する世界と日本の役割について、外国の人々の生活の様子などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、レポートなどにまとめ、日本の文化や習慣との違いをとらえ、国際交流の果たす役割を考え、表現したりすることを通して、我が国の経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活は多様であることを理解するとともに、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解する。>
	3	2 世界がかかえる問題と日本の役割 <地球規模で発生している課題の解決に向けた国際的な連携・協力などに着目して、地図帳や地球儀などの各種の資料で調べ、まとめ、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子をとらえ、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現することを通して、我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力をおこなったりしていることを理解する。>